

「測量成果電子納品要領(案)」の主な改訂点

1 応用測量成果のファイル形式の変更

「応用測量成果のファイル形式」については、現行の要領(案)では受発注者間協議で決定することとしていましたが、「拡張デジタルマッピング実装規約(案)」(国土地理院技術資料)の策定により、DM(デジタルマッピング)仕様の統一が図られ、DMデータを設計側へスムーズに受け渡すことが可能となるため、以下のとおり要領(案)を改訂します。

- 測量座標が必要となる平面図のファイル形式は、「拡張デジタルマッピング実装規約(案)」で定められている「拡張DM形式」とします。
- 測量座標を持たない縦断面図・横断面図等の断面図のファイル形式は「CAD製図基準(案)」に準拠したCADデータとします。

なお、「拡張DM形式」とは、「公共測量作業規程」で定められている数値地形測量を対象としたDMデータファイル仕様について、デジタルマッピング取得分類基準を明確にし、かつ、応用測量成果等を含める形で拡張したデータファイル仕様のことを言います。応用測量等の測量成果で拡張DM形式となるものは表1に示すとおりです。

表1 拡張DMとなる応用測量成果

測量区分	測量細区分	成果等
路線測量	線形決定	線形図
	中心線測量	線形地形図
	詳細測量	詳細平面図
	用地幅杭設置測量	杭打図
河川測量	深浅測量	等高・等深線図
	法線測量	線形図
	海浜測量	等高・等深線図
用地測量	資料調査	公図等転写連続図
	復元測量	復元箇所位置図
	補助基準点の設置	基準点網図
	用地境界仮杭設置	設置箇所位置図
	用地境界杭設置	設置箇所位置図
	用地実測図等の作成	用地実測データ
用地実測図等の作成	用地平面データ	

2 デジタルオルソの追加

近年普及しつつあるデジタル技術による写真図の作成について、統一的な規格や基準がない現状を踏まえ、数値化した空中写真から正射変換処理したデジタル画像を作成する作業方法を「デジタルオルソ作成」として位置づけて標準的な作業方法と測量成果の品質基準を明示した「デジタルオルソ作成の公共測量作業マニュアル(案)」(国土地理院技術資料)が策定されました。

これに伴い、現行の要領(案)では規定されていない「デジタルオルソ」の電子納品方法を定め、要領(案)に新たに追加しました。(表2参照)

表2 デジタルオルソの成果品とファイル形式等

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	ファイル名	各納フォルダ名	備考
デジタルオルソ	数値写真	(対象外)			
	数値地形モデル	拡張 DM	CD*B3nnn.DM	/CHIKEI/DATA/	
	正射投影画像	(対象外)			
	モザイク画像	(対象外)			
	デジタルオルソデータファイル	TIF	CD*B1nnn.TIF	/CHIKEI/DATA/	
	位置情報ファイル	TXT	CD*B2nnn.TFW	/CHIKEI/DATA/	ワールドファイル仕様
	精度管理表	PDF	CD*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ORTH_*/	

3 ダム湖の深浅測量の追加

現場における測量成果の電子納品実態を考慮し、現行の要領(案)では規定されていない「ダム湖の深浅測量成果」の電子納品方法を定め、要領(案)に縦断面図、等高・等深線図を新たに追加しました。

4 成果表出力フォーマットの改訂

簡易網基準点測量等への対応を図るため、成果表出力フォーマットの改訂を行いました。改訂した主な事項は以下の通りです。

- 簡易網基準点測量用フォーマットを追記
- バージョン管理用にコメントデータを追加

5 上位要領との整合

上位要領に当たる「土木設計業務等の電子納品要領(案)」の改訂内容を本要領(案)に反映させました。反映させた主な事項は以下の通りです。

- 管理ファイル
 - 要領の版管理のための管理項目の追加
 - 管理ファイル作成に関するソフトウェア情報記入の削除
- スタイルシートの利用
- フォルダ作成規定の変更
- 要領本文（規定・解説）の再編集